



コミュニティ・スクール通信

No. 1 令和4年(2022年)10月26日(文責 小谷佳・古山)

令和4年度からコミュニティ・スクールとして新たに八東小学校がスタートしています。「コミュニティ・スクールって何?」と思われる方もまだまだ多いのではないかと思います。そこで、不定期ではありますが「コミュニティ・スクール通信」を発行し、活動についてお知らせしていきます。まず第1号では、「コミュニティ・スクールについて」「学校運営協議会委員の紹介」「第2回学校運営協議会の報告」をお伝えいたします。

●コミュニティ・スクールとは?(略してCS)

コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会」という仕組みを取り入れた学校の呼称です。

●学校運営協議会とは?

学校運営協議会とは、地域住民と学校関係者で構成される組織のことで、地域と学校が同じ立場で一緒に知恵を出し合い、子どもたちの豊かな成長を支えていこうというものです。

●なぜこうした取り組みが必要なの?

人の成長は家庭・学校・地域によって成り立ちます。しかし核家族化やコミュニティの希薄化など時代とともにそのバランスは崩れ、近年の子どもの育ちについては、基本的な生活習慣や自制心、あるいは規範意識などの課題が指摘されています。そしてこうした課題は私たちの暮らしにも直結してきます。誰もが幸せに暮らせる地域をつくるため、改めて地域全体で子どもたちを育てる気持ちを持ち、学校づくり、地域づくりを進めることが必要です。

●どんなことをしていくの?

学校の基本方針を承認し、「OKではなくLetsで」一緒に学校運営に取り組んでいきます。

学校だけでは困難なものなど、家庭、地域と共に取り組んでいきます。

◇学校運営協議会委員紹介

| 委員氏名 | 自己紹介 |
|-----------|--|
| 会長: 志賀里支 | 児童数が激減していく中で、今後の学校のあり方について、みなさんと共に考えていこうと思います。 |
| 副会長: 丸山恭子 | 地域の宝である子どもたちが「八東だいすき蒜山大好き」と感じながら元気に育ってくれることを願っています。地域のおばちゃんとして手伝わせてください。 |
| 委員: 前原茂雄 | 蒜山郷土博物館の館長をしています。歴史や文化を研究しています。地域に暮らす者として自分の力が少しでもお役に立つようでしたら大変うれしいです。 |
| 委員: 坂江 誠 | 蒜山が好きですむようになり 21 年が過ぎました。孫も八小でお世話になっています。八東小の子どもたちが明るく元気で学校生活を送ることができるよう頑張ります。 |
| 委員: 山田隆文 | 八小の子どもたちの健やかな成長のために出来る事を、家庭・学校・地域が一緒に考え行動していくことが、これまで以上に求められていると思っています。 |
| 委員: 湯楨智子 | 蒜山育ちで蒜山で子育てをしたおばちゃんです。ぜひ次世代を担う子どもたちに、蒜山で大きくなってよかった…と感じてもらいたいと思い私自身も勉強中! |
| 委員: 小谷佳嗣 | 地域には思いや協力意欲をお持ちの方が多くおられます。そうした思いと学校運営をつなぎ、ワクワクするような地域にしていけたらと思っています。 |

| | |
|----------------------|---|
| 委員:小谷幸正 (PTA 会長) | 「CS」と聞くと特別なもの?と感じましたがきっと特別なことではないのでしょうね。微力ではありますがより地域に根ざした学校運営が行えるようサポートさせていただきと思います。 |
| 委員:角南実央 (PTA 副会長) | 地域の皆様と共に、子ども達にとってよりよい学校生活を過ごせるように微力ながらお役に立ちたいと存じております。よろしくお願いいたします。 |
| 委員:古山直美 (校長) | 八束の子どもたちの豊かな育ちのため誠心誠意がんばります!学校、家庭、地域がしっかりつながって子どもたちを育てていけるよう、ご支援ご協力をお願いします。 |
| 委員:田村知之 (教頭) | 教頭として3年目です。「地域とともにある学校」をめざし、地域の皆様とのつながりを大切にしていきたいです。 |

◇第2回学校運営協議会(9月5日)

- ・1学期の様子について学校より説明(学力調査結果、生徒指導上の課題等)
- ・「よりよい八束小づくりアンケート」(6月実施)の結果をもとに意見交換



2022 サマースクール八束塾

○1 学期の様子から

- ・学力学習状況調査の結果を受けて

委員:朝学習で基礎基本を学習するなどの手だてが必要ではないか

学校:サマースクール八束塾のような形で、朝学習や放課後の学習が充実できるよう、検討していきたい

○「よりよい八束小づくりアンケート6月実施」結果から

| | | |
|-----|---------------------------------|-------|
| 児童 | わたしは、自分の住んでいる地域(蒜山・真庭・岡山)が好きである | 91.8% |
| 保護者 | 子どもに地域のよさを伝えている(地域活動や行事への参加を含む) | 83.4% |
| 職員 | 地域のことについて考える学習や活動を意識して行っている | 70.0% |

委員:「蒜山の宝」を柱にした地域学習の項目について、児童が「わたしは自分の住んでいる地域が好きである」の肯定回答が90%を超えていることがうれしい。反面大人(保護者や教職員)の肯定回答が90%に満たないのは残念。10/7(金)の参観日は「八束の宝」を学ぶ機会であり、保護者にこの参観日の機会に子どもとともにしっかり聞いてほしい。

学校:今年度は職員研修でも蒜山について郷土博物館で夏休み中に研修を実施した。今後も地域と連携していきたい。

| | | |
|-----|-----------------------------------|--------|
| 児童 | わたしは、自分によいところがあると思う | 76.2% |
| 保護者 | 子どものよい行いをほめたり、長所を伝えたりしている | 94.5% |
| 職員 | 児童のよい行いや努力していることをほめたり、長所を伝えたりしている | 100.0% |

委員:小学校という学齢期では自分に目がまだ向かないときかもしれない。大人も意識して声かけをする必要がある。

学校:これからも様々な場面で、良さを認める声かけを全職員で実施していく

「地域との連携」「自他を認め合う児童の育成」など、今年度八束小が力を入れている部分について、忌憚のない意見交換ができました。また、アンケートの回答率の低さが気になる(54/77回答:回答率70.1%)という意見もありました。このアンケートが学校経営の基礎資料となること、年間で3回の実施は保護者にとって負担かもしれないが、データの推移をみることも保護者に伝えていく必要があることも確認しました。これからも学校運営に関して意見交換をしながら、よりよい八束小づくりに取り組んでまいります。お力添えをよろしくお願いいたします。